

葛飾区

緑化推進協力員だより

第43号



2020年3月 葛飾区緑化推進協力員会

協力 葛飾区環境部環境課緑と花のまち推進係

表 紙

令和元年度には、緑化推進協力員による園芸教室が4回実施されました。

実施したのは、写真右上「しそジュースの作り方」、写真左上「苔玉づくり」、写真右下「芋づるでクリスマスリースを作ろう」、写真左下「パンジー・ビオラのハンギングバスケット」です。どの教室も大変盛況でした。

葛飾区緑化推進協力員は、葛飾区緑の保護と育成に関する条例に基づき葛飾区長から委嘱された、緑の保護と育成に関する区の施策に協力し、緑に関する知識と熱意を持って自主的な地域活動を積極的に推進していく区民のボランティアです。

緑化推進協力員会全体での活動、区内を4つのブロックに分け、それぞれの地域で行うブロック活動、地域における個人での活動など、緑化に関する様々な普及啓発や活動を行っています。

この「緑化推進協力員だより」では、緑化推進協力員の日頃の活動や、緑化について感じたこと・考えたことなどをまとめたもので、年に2回発行しています。



目 次

	題 名	ブロック	氏名・ペンネーム	ページ
1	活動記録（後期）	第1ブロック		1
2		第2ブロック		3
3		第3ブロック		4
4		第4ブロック		5
5	緑化推進協力員活動場所マップ			6
6	令和元年後期の緑化推進協力員活動は ブロック会議から	第1ブロック	佐々木 定 治	7
7	冬花壇	第1ブロック	引 地 詔 子	9
8	ユスラウメ	第2ブロック	五十嵐 美 鈴	10
9	苔むす緑と花のまち	第2ブロック	近 藤 文 子	12
10	仲間と育んだ今年の夏花壇	第4ブロック	田 中 アヤ子	14
11	編集後記		編 集 委 員	15



第1ブロック活動記録（令和元年10月1日から令和2年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
10月 3日	わかば公園	園内整備	除草
5日	水元スポーツセンター公園	植え替え	第1ブロック花壇の植え替え
6日	柴又街道	花壇活動	手入れ
15日	にいじゅくプレイパーク	園内の整備	枯れたベニカナメ（垣根）の跡へ、キンモクセイ4本植え込み、花壇の除草3名
15日	わかば公園	園内整備	除草と消毒
19・27日	日比谷公園	フラワーメリーゴーランド協議会	日比谷ガーデニングショー参加
26日	わかば公園	園内整備	除草
28日	区内公立中学校	観察会講師	区立中学校科学部校庭の自然観察（樹木を中心に）講師
29日	新小岩周辺	レポーター活動	花いっぱいレポーター活動
31日	区内私立保育園	園内の手入れ	私立保育園の園庭除草
31日	にいじゅくプレイパーク	花壇の整備	ストック・キンギョソウ・パンジー・ノースポールの植え込み、除草 3名
11月 1日	清水農園	園芸教室	パンジー・ビオラのハンギングバスケット 受講者20名
10日	エコライフプラザ	サロン・ド・花いち	スワッグ作り参加
12日	金町駅南口	花壇植え付け	マーガレット、キンギョソウ、ビオラ
13日	新柴又駅前	花壇活動	清掃
13日	水元小合学園	花壇活動	冬の花植え付け参加
14日	金町駅南口	球根植え付け	チュウリップ、アネモネ
15日	わかば公園	園内整備	除草と記念樹の剪定
16日	柴又街道	花壇活動	ユリオブステージ植え付け
17日	にいじゅくプレイパーク	花壇の整備	チューリップ球根（80個）の植え込み、除草 3名
21日	新小岩周辺	レポーター活動	花いっぱいレポーター活動
24日	清水農園	飯塚子供会	大根収穫祭参加
29日	葛美中学校		パンジー提供
12月 2日	金町駅北口	花壇の整備	植え替え
8日	水元総合スポーツセンター	オール水元スポーツクラブ活動	ハンギング講座
13日	わかば公園	園内整備	除草と追肥
13日	水元2丁目周辺	調査	水元2丁目エリアの緑化状況調査
22日	葛美中学校		門松作り
27日	水元いりや公園	研修	公園の冬桜の撮影調査
29日	金町駅南口	花壇の手入れ	草取り、花がらつみ

1月 9・19日	新小岩周辺	レポーター活動	花いっぱいレポーター活動
14日	わかば公園	園内整備	除草と水やり
16日	柴又街道	花壇活動	清掃
19日	都立水元公園	研修	公園の緑化観察自己研修
22日	にいじゅくプレイパーク	花壇の整備	除草と手入れ 2名
28日	角筈区民ホール	イベント参加	令和元年度花の都シンポジウム参加
29日	わかば公園	園内整備	除草と記念碑の補修
30日	都立水元公園	研修	公園の緑化観察自己研修
2月 4日	水元3丁目	調査	水元3丁目周辺の緑化状況撮影
3月 27日	金町駅北口	花壇の整備	植え替え
ブロック当番	屋上緑化見本園	花壇の維持管理	花壇の水遣り・管理等（通年）

※期間中の随時作業

① 水元スポーツセンター公園花壇

- ・週に一回程度、水やり等花壇管理

② 原田小学校地域応援団花植え班

- ・11月に花壇植え替え
- ・4～11月 毎週月・水・金
- 12～3月 毎週月・木 水まき、花がらつみ、清掃
- 毎月 月・水・金 定期的に水遣り、草取り、花がら取り作業実施

第2ブロック活動記録（令和元年10月1日から令和2年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
10月 3日	区役所屋上緑化見本園	園芸教室	苔玉づくり 受講者20名
9日	白鳥四丁目公園	花壇整備	伸びたアイビーを剪定し、さし芽をする
30日	白鳥四丁目公園	公園課配布の培養土他搬入と草花植え付け	ノースポール、パンジーを植え付け施肥、灌水
11月 2日	白鳥四丁目公園	公園課配布の培養土他搬入と草花植え付け	ノースポール、パンジー他植え付け（10月30日残り分）
24日	柴又公園	チューリップ花いっぱいを楽しもう2019	五泉市チューリップ球根を植え付け（準備、植え付け指導）
12月 4日	白鳥四丁目公園	花壇植付け除草	緑の募金より配布されたチューリップ球根を植え付ける
9日	南綾瀬小学校	チューリップ植え付け指導	プランターにチューリップ（1名2個ずつ）
17日	白鳥四丁目公園	花壇整備・施肥	チューリップ球根が飛び出し、植え直しをする（カラスのいたずら）
28日	白鳥四丁目公園	花がらつみ、清掃	アリッサムの成長が悪いので移動（土をほぐし植え直す）
1月 17日	白鳥四丁目公園	チューリップ球根、ハボタン植え付け	昨年のチューリップの大きい球根（芽が出てきたので）のみとハボタンの植え付け
ブロック当番	屋上緑化見本園	花壇の維持管理	花壇の水遣り・管理等（通年）

※白鳥四丁目公園花壇

毎週月曜日午前中 半田協力員が清掃等の花壇管理に従事して下さっている（特に週明けは公園で遊んだ後の食品袋、ペットボトル等のゴミが散乱している。）。

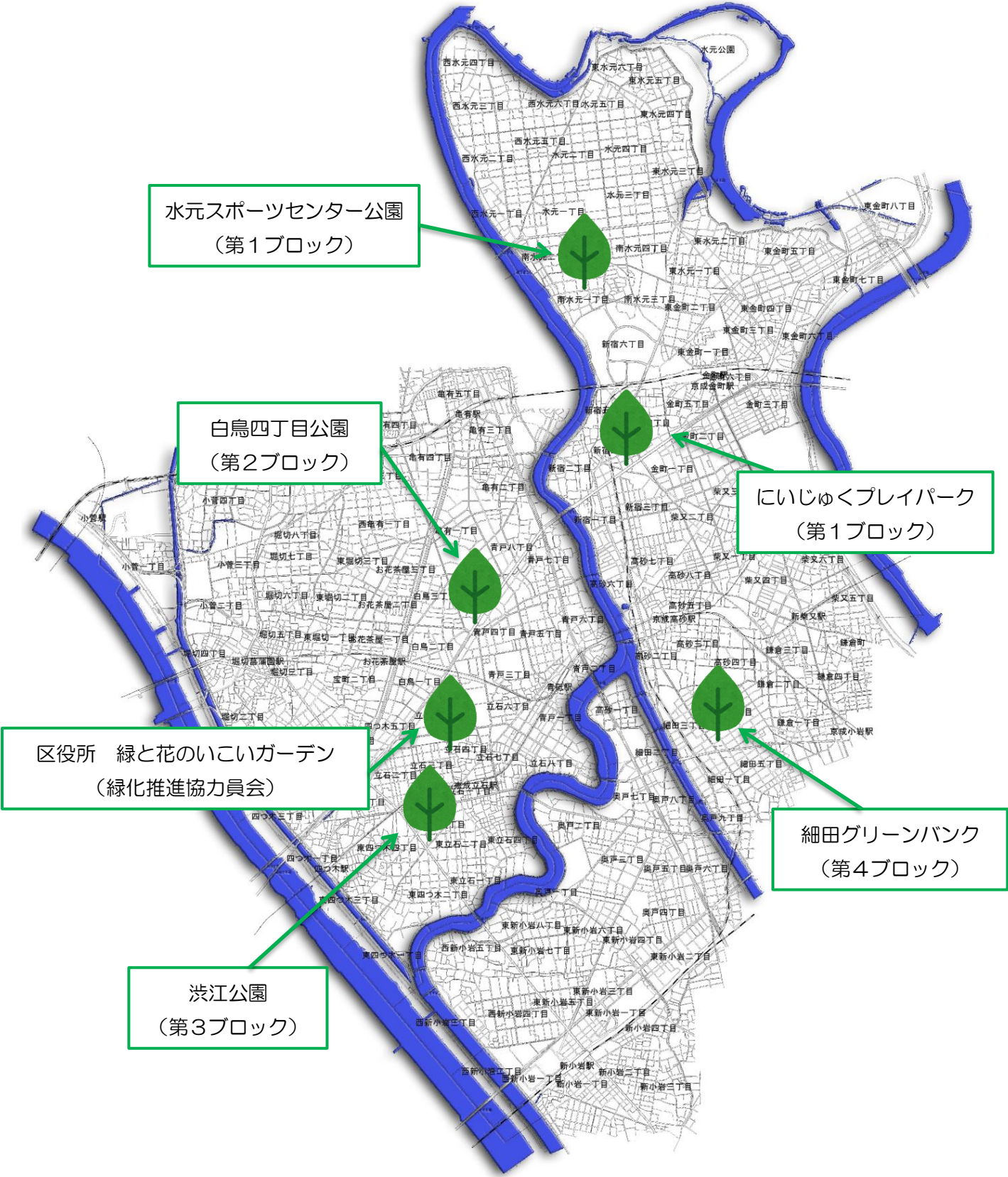
第3ブロック活動記録（令和元年10月1日から令和2年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
10月 5日	渋江公園	花壇管理	花がら摘み、水やり等
24日	水元公園	施設見学会	水元グリーンプラザ友の会会員として、活動報告等
11月 2日	渋江公園	花壇管理	花がら摘み、水やり等
24日	柴又公園	チューリップ花いっぱいを楽しもう2019	五泉市チューリップ球根を植え付け
12月 7日	渋江公園	花壇管理	花がら摘み、水やり等
1月 4日	渋江公園	花壇管理	花がら摘み、水やり等
14日	区役所会議室	ガーデンプロジェクト1 2会議	花壇管理講座振り返り、来年度活動について
2月 1日	渋江公園	花壇管理	花がら摘み、水やり等
20日	清水農園	ガーデンプロジェクト1 2会議	花壇デザインについて 他
3月 7日	渋江公園	花壇管理	花がら摘み、水やり等
ブロック当番	屋上緑化見本園	花壇の維持管理	花壇の水遣り・管理等（通年）

第4ブロック活動記録（令和元年10月1日から令和2年3月31日まで）

月 日	会 場	会議名・事業名	内 容
10月 8日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇の手入れ
15日	新小岩駅東北広場	ペチュニア剪定	フラワーメリーゴーランドの手入れ
23日	奥戸農園	園芸教室準備	芋づる採取
31日	屋上緑化見本園	園芸教室	芋づるでクリスマスリースを作ろう
11月 12日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇の手入れ・花苗植え替え
12月 10日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇の手入れ
1月 14日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇の手入れ
2月 18日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇の手入れ
3月 10日	細田グリーンバンク	月例作業	花壇の手入れ
ブロック当番	屋上緑化見本園	花壇の維持管理	花壇の水遣り・管理等（通年）

緑化推進協力員 活動場所マップ



葛飾区緑化推進協力員だより 43号に寄せる

第1ブロック 佐々木 定治

令和元年後期の緑化推進協力員活動はブロック会議から



1-1

緑化推進協力員活動は、ブロック会議で綿密なる打ち合わせをし、決定しました。令和元年後期の活動を進めるにあたり、9月2日（月）午前10時から「水元学び交流館 第三集会室」で活動内容の討議後、その詳細を決定しました。

当日の具体的な議題は

- ① 令和元年度後期のブロック活動
- ② 施設見学会
- ③ その他

※前期の活動に於ける振り返りもしました。 1-1

令和元年度施設見学会 ～水元の森を見学して～



2-1



2-2



2-3



2-4↑ 2-5↓

10月24日に緑化推進協力員会の「施設見学および樹木ウォッチング研修会」が水元グリーンプラザで開催されました。当日のプログラムは次の通りです。

受付	9:00～9:15	
開始挨拶	～9:20	
研修1	～9:50	水元グリーンプラザ友の会活動紹介（パワポ）
研修2	～10:10	グリーンプラザ内の案内
研修3	～12:00	樹木ウォッチング 木の葉のしおり作り
	12:01～	昼食
自主研修		リース作り等

2-1：研修1 2-2～2-4：研修2



2-4：ナンジャモンジャ

2-5：ユリノキ ※次ページに

緑が暮らしを潤す～作品づくり～



3-1 「しおり」「リース」作り説明



3-2 「しおり」落ち葉のしおり完成



3-3 リース作り



3-4 リース完成

樹木観察で、特に印象に残った樹木は、「ナンジャモンジャ」と「ユリノキ」です。ここで学んだことを記載します。(参考：西東社 葉・花・実・樹皮でひける樹木の事典 600種 金田初代・金田洋一郎/著)

ナンジャモンジャ：ナンジャモンジャはヒトツバタゴ（モクセイ科）のことで、ヒトツバは、一つ葉。タゴは、田子（田んぼのはざ木でトネリコ、タモ）の方言のことです。このヒトツバタゴの別名をナンジャモンジャノキと言っていますが、クスノキ・ニレ・イヌザクラ・ボダイジュ等をナンジャモンジャノキと呼んでいる地域もあります。従って全国でナンジャモンジャと呼ばれている樹木が何と22種類もあるのです。水元公園の樹木園には21種類のナンジャモンジャが植えられているようです。名前の由来は江戸時代、青山六道の辻（現在の神宮外苑）に植えられた「ヒトツバタゴ」の本当の名前が分からなかったため付けられた名前のようなのです。

ユリノキ： 太い幹が直立し、円錐形の美しい樹形をつくり、カップ形の花が上を向いて咲きます。黄緑色の花卉の基部に、オレンジ色の斑点があるチュウリップによく似た花なので英名はチュウリップツリーです。長さ10～15cmもある大きな葉は、先端が断ち切られているような独特な形で、これを「半纏」に見立てて「ハンテンボク」の別名もあります。

◎観察会と、観察会時に採集した「落ち葉：ナンキンハゼ クスノキ」を活用した「しおり作り」を午前中に終了し、午後は自主研修で楽しい「リース作り」をしました。緑の自然から大きな恩恵を受けて毎日の暮らしを潤してくれている緑に感謝いっぱいの、令和元年の研修会となりました。

.....*.*.*.*.....

冬花壇

1ブロック 引地 詔子

前回は夏の花でしたので、冬の花について考えました。寒さに強い花をレイアウトしなければ、花壇を見て楽しんでいただけないと思い、毎年挑戦していますが、思うようにいかないのが現状です。温度に左右されますから、今年の冬は暖冬という予報ですが、春が来るまで分かりません。水元公園と金町駅前花壇では、夜の冷え込みが違います。都心で冬越せる花も、水元公園では枯れてしまいます。冬の管理が大事です。

ボタン、シャクヤク、ハーブ園、野草園などには落ち葉で保護してあげます。花壇にはビオラ、パンジー、ノースポール、ハボタンなど。キンギョソウ、ストック、プリムラ、マラコイデスなどは春まで無理に思います。ですが、間に球根のアネモネ、クロッカス、ランキュラス、チュウリップが春に芽を出して楽しませてくれます。

秋まで元気に咲いていた、アングロニアとペンタス、ペチュニアを冬越しできるか、水元公園で試しています。今のところ、さくらさくらが元気です。



区役所 緑と花のいこいガーデンの冬花壇

.....*.*.*.*.....

ユスラウメ

2ブロック 五十嵐 美鈴

私の子供の頃は、どの家も木造の平家で庭に実のなる木があり、私の家には柿、いちじく、びわ、グミ、ユスラウメがあった。家の前はドブ川で、くちぼそ、ふな、めだか、アメリカザリガニがいて、子供たちの遊び場になっていた。姉が、そのドブ川に落ちておぼれかけた時、母は伯母とお茶を飲んでいたら、姉の「お母さん！！」という聞こえるはずもない声が母には聞こえ、裸足で飛び出し姉は命拾いした。今はドブ川は暗渠になり、遊歩道になった。

京成線お花茶屋駅の線路際は家がたち、駐車場になっているが、昔はヨシが生え、がんや蛙やなまずがいた。なまずは今、高級魚になり、なかなか食べられないと言う。世の中が急速に変わり便利になった反面、失われたものも多い。住環境もマンションが増え、一変した。私の家も4階になり庭が狭くなり、実のなる木は杏だけ。その杏の木も台風で折れ、建物も傷つきリフォームすることになった。そんな時、「界わい緑化」※の話があり、庭も手を入れることになった。母がデザインして、父が石を積み貝で作った和風の庭を生かし、ねずみもち、杏、マキ等を切り、バラ、椿、さざんか、やつで、南天、もみじ、葉らん、姫りんご、あおきはそのまま、手入れの簡単な低木ヤブランと、子供の頃の思い出のユスラウメ、下草はフッキソウを植えることに。造園のプロの方の手によって、お庭もすっきりと上品に美しく変身！洋風の建物（外壁がグレー、屋根がワインレッド。）と和風の庭が素敵にマッチして、みなさんに「きれいになりましたネ！」とほめていただきました。東京オリンピック・パラリンピックの記念の年に、ユスラウメの可愛い花が咲き、真っ赤な実がなると思うと、ワクワク、幸せな気分！ユスラウメはそのまま食べても、ジャムや果実酒にもなる。両親や姉もきっと喜んでくれると思います。

※界わい緑化

路地や軒先などの小さなスペースを緑化することで、街の中に緑の空間を広げていく取り組みで、平成22年5月に東京都と区市町村合同で策定した「緑確保の総合的な方針」の中に位置づけられています。令和元年度、葛飾区では、比較的緑被率が低い区役所を中心とした半径1kmの範囲を界わい緑化対象エリアとし、東京都公園協会の助成金を活用しながら、緑化希望者を集めて意見交換会を行い、実際に小さな戸建住宅や店舗などに緑化しました。

<ユスラウメ（英桃）>

バラ科の落葉低木。中国原産で庭園に植えられる。高さ3メートルほどになり、多く分枝する。葉は枝上に互生して密生し、長さ5センチメートルほどの倒卵形で、縁に細かい鋸歯がある。春に新芽に先立ち、白または淡紅色の小さな立弁花が開く。6月頃、直径1センチメートルほどの果実が赤く熟し、生食される。

〔和名由来〕①花が揺れるため、ユスルル（動）の意味。

②朝鮮語の yisulat にウメが接続したもの。

③枝葉が多く茂り、微風にも揺れやすいから。

〔別称/方言〕イシランメ、イスランメ（鳥取）、イスラメ（岩手）

〔学 名〕Prunus tomentosa Thunb

属名はラテン語の「スモモ plum」から。

〔外 国 名〕英：Nanking cherry（chi-nese bush cherry）

漢：英桃

〔歳 時 記〕季題は<春><夏>

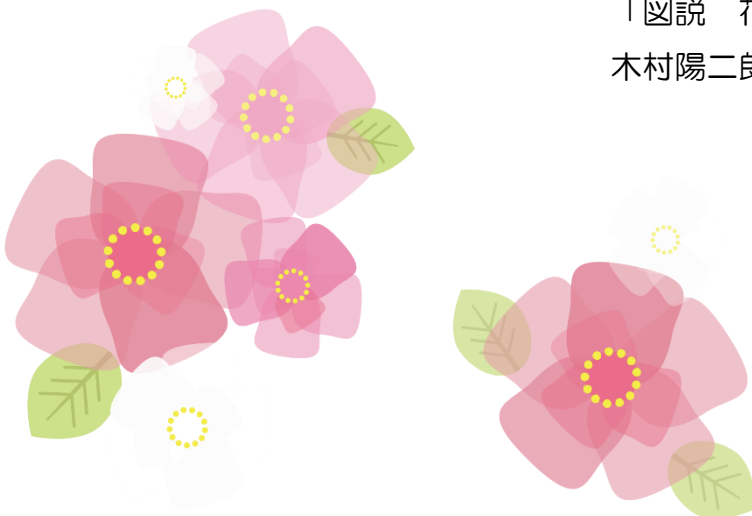
〔利 用〕果実は生食されるほか、果実酒の原料にもなる。ユスラウメの生薬名は山桜桃で、果実酒には消化促進の効果がある。近年は桃の矮性台木としての利用も研究されている。

〔歴史・文化〕江戸時代初期に渡来したとされるが、年代は不明。「農業全書」（1697）に記載が見られる。

<参考文献>

「図説 花と樹の事典」柏書房

木村陽二郎（監修）、植物文化研究会（編集）



苔むす緑と花のまち

2ブロック 近藤 文子

11月30日、三十年間の民生児童委員の福祉活動に終止符を打った。

三十年間というひとつの節目に自分なりにけじめをつけたかったのである。皆、「長かったようで短かったでしょ？」と聞かれるが、私にとっては永い年月であったと感じる。

大学ノートにビッシリと記録された調査資料を捲ると懐かしかったり、心も痛む名も出てくる。

すでにお亡くなりになられた方も多く、三十年に渡る人々との出会いは「ずしり」と重く、重責を担っていたことを再確認させられる。

何よりも、草木をいとおしみ掃き清められた庭。手入れに入るとハサミの音をずっと縁側で聞いていた女性もその一人。

高齢になり、庭のお手入れも難しくなり、八十がきて庭のお手入れをご依頼いただいた男性、その思いのこもった門下ぶりの松を見、そのハサミの入れ方から、松に対する愛情すら感じられた事も思い出す。

しかし、お亡くなりになると、ほとんどが建売となり、年月と愛情を注がれていた木々も、緑に囲まれていたその風景も消えてしまう。木戸をくぐると、足元には熟れた梅、見上げるとブロック塀からせりだして立派に実らせている梅の木の香り。門かぶりには手入れの後の清々しい松や槇の木、こんな「緑の遺産」も次から次へ消えて行ってしまう。

「侘（ワビ）」と「寂（サビ）」の世界も清算される時代になってしまったのだろう.....。

緑と手間そして時が作り上げてきた、「庭」というものも、時代の流れには逆らえない、切ない思いでハサミを入れる植木職人も心が痛む。せめてもの思いで、必ず塩と酒で清めても、賑わいのあったあの庭で子供達と共に過ごした記憶も、人の一生のごとく終わりを迎えていることが、心痛い。

多くの顔、多くの記憶、三十年の福祉活動を通してその時代の流れの中、見送った方々。そこにはいつも、「緑」があり、「花」があり、雨に打たれて香る土や緑の匂いがあった。

「もみの木は残った」という古いドラマがあったが、今は一本の草木でさえ残らなくなった次世代に、これからは、何をどう伝えればよいのか、....。

小さい事柄でも、寄せ植え教室に来た方のにこやかな笑顔を見るに、緑化推進協力員と

しての取り組みから、学び、活動してゆくことで、その世代に伝えていくことができるの
だろうか。

まだまだ、学び足りない事柄も多く、伝えきれない事も多いが、これからは全力で「緑
化推進協力員」として活動して、第二の出発点として、今後の自分自身を共に育てていき
たい。

苔むす、緑と花のまち葛飾のために・・・。



.....*.*.*.*.*.....

仲間と育んだ今年の夏花壇

4ブロック 田中 アヤ子

2018年12月に気候変動適応法が施行されて、温暖化対策に対して高温に強い花などが研究されてはいるものの、それに伴う花選びが残念ながら不足していた事に反省を綴りました。

区役所緑と花のいこいガーデン花壇の花壇管理に今年は記録的猛暑でしたが、花殻摘み、切り戻し、水やり、清掃と一生懸命に仲間たちが育てていただいたからこそこの今年の夏花壇でした。

私の踏ん張るエネルギーにもなった ひまわり「サンビリーバブル」にウォーム・ハートを持たしてくれました。



5月23日・・・ペチュニア、ペンタス、センニチコウ、ポーチュラカ、ガザニア、コリウスを、花壇狭しと植えました。

7月2日・・・高温多湿に弱いガザニアが葉腐病にかかり、次々と抜き取る状況に至って、一年前の夏花壇の失敗がよみがえり、不安とあせりでありました。ペンタスの根元と葉にはコガネムシが群めいていました。ポーチュラカの茎の旺盛な伸び様には切り戻して

も次から次へと育ち倒れ、蒸れて抜くことに。幸いに、さし芽で育苗が出来ました。

7月24日・・・センニチコウがゴールドクレストの日陰になり、なかなか大きくなりませんが、移動をしながら、細田グリーンバンク花壇より花壇再生のため、ひまわり「サンビリーバブル」3株を立体的に植え替えました。気象状況によって、手入れの度合いを勉強することになりました。

9月12日・・・台風15号の強風と強雨にもゴールドクレスト、サンビリーバブルも倒れながらも根はしっかり張り、土が盛り上がったものの職員の方々の手助けで元に戻り安心いたしました。



.....*.*.*.*.*.....



編集後記

落葉樹の最後の一葉が落ちてから季節が移行し、まるで箒を逆さまにしたような出で立ちを大胆に見せる時候になりました。休眠しているケヤキの木肌に手をやり、耳をそばだててみました。樹木の命を感じ、何かを私に語り掛けてくれるような気がしました。

そんな中で、この季節の春の準備をしっかりとしています。来るべく緑の季節を夢見、人との共生を黙ってその場でしてくれていることに只々、感謝をします。この地域で未来永劫にここにいて、地域を見守って欲しいと願わずにはられません。

1ブロック 佐々木 定治

.....*.*.*.*.....

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。国勢調査や、7月5日には東京都知事選挙もあり、忙しい一年です。

「花いっぱいでおもてなし」の心を大切に、日本の自然の美しさ、素晴らしさを外国のみなさまにお伝えしたいと思います。

2ブロック 五十嵐 美鈴

.....*.*.*.*.....

今年は、暖冬のせいか公園や歩道脇に草花、木、実が多いように感じられます。私は毎日の散歩や買い物時に、それらの草花を見て歩くのを楽しみにしております。暖かいとはいえ、厳しい環境にも負けずに頑張っているのを見ると元気をもらえるし、心が穏やかになるからです。

3ブロック 江良 ヒデ子

.....*.*.*.*.....

ドウダンツツジの落葉は、例年10月下旬から12月上旬にかけて発生するので、その時期は清掃が忙しい。また、紅葉は10月に入り徐々に色を増してくる。11月の最盛期には真紅の葉で覆われ見事である。毎年多忙な清掃の時期と、紅葉の楽しみの時期が少差で並行しているので、苦勞も帳消しされている思いもある。

4ブロック 荒井 幸雄